



グローバルSCM時代の在庫理論！在庫を適正化する実用的な在庫計画方式を学ぶ 『Pull 生産方式での在庫計画』

在庫を適正化する実用的な在庫計画方式を学ぶ

在庫(製品在庫、仕掛在庫など)の削減(適正化)は製造企業にとって永遠の課題です。在庫の削減は社内からの資金調達に相当し、キャッシュフローを改善する経営効果があります。また、在庫を計画することは生産を計画することと同じ意義を持ちます。本セミナーでは、受注生産企業、見込生産企業を対象として、Pull 生産方式と親和性が高い、在庫を適正化する実用的な在庫計画方式を学びます。

※参加者には講師による「経営視点で学ぶグローバルSCM時代の在庫理論 カップリングポイント在庫計画理論」を進展します。

このセミナーの5つのポイント

- ポイント1 : 6種類の在庫を理論的に理解
- ポイント2 : キャッシュフロー改善の活動を理解
- ポイント3 : 発注方式と在庫の挙動を理解
- ポイント4 : Pull方式の在庫計画を理解
- ポイント5 : シミュレータの活用で、実際のデータを使って理解

日時/2019年10月10日(木)10:00~17:00
2019年10月11日(金)10:00~17:00
会場/JR 新横浜駅周辺の会議室を予定
受講料/日本IE協会・他地区IE協会会員 66,000円
一般 80,000円
日本生産性本部 賛助会員 76,000円
(消費税別・テキスト代を含みます)

講師

早稲田大学理工学術院創造理工学研究科
経営デザイン専攻 特任教授・工学博士
光國 光七郎 氏



会場は、新横浜駅周辺を予定しています。

【プログラム】

10月10日(木)

第1ステップ:在庫理論の概要

- ・6種類の在庫と演習
- ・必要在庫量の計算方法
- ・在庫を計画することの意味

第2ステップ:在庫計画の役割と企業経営

- ・財務諸表(棚卸資産)の見方と演習
- ・棚卸資産とリードタイム・サイクルの関係

第3ステップ:発注方式の基礎

- ・ダブルピン方式と演習
- ・定量発注方式と演習
- ・定期発注方式と演習

10月11日(金)

第4ステップ:需給マネジメント

- ・3種類の需給調整方式と需給調整の成立要件
- ・バックワード(需要予測)方式とPush生産方式
- ・フォワード(需要実績)方式とPull生産方式
- ・カップリングポイント在庫計画(補充)方式とPull生産方式

第5ステップ:カップリングポイント在庫計画

- ・カップリングポイント(適正在庫位置)の設定
- ・カップリングポイント在庫計画(補充)方式の演習
(シミュレーションによる需要予測方式との挙動比較)

第6ステップ:カップリングポイント在庫計画の導入設計

- ・導入設計の考え方
- ・改善活動の着眼点
- ・現場の悩み・意見交換



参加者に進呈します！！

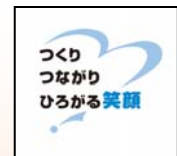
~参加者の皆さまへのお願い~

- (1) 受講当日は、Excel(注)がインストールされているパソコン(PC)を各自でご用意ください。
- (2) 当日、演習で使用するシミュレータを貸し出しますので、USBメモリ読取装置(PC内蔵)をご準備ください。
(注: Excelは、Micro Soft社の登録商標です)

講師紹介

早稲田大学理工学術院創造理工学研究科
経営デザイン専攻 特任教授・工学博士

光國 光七郎 氏



日立製作所で、プログラミング・システムエンジニアリング業務 20 年、事業構造改革および業務改革コンサルティング業務 22 年を経験。1985 年創価大学卒業、2000 年大阪大学大学院博士後期課程修了。工学博士。2010 年早稲田大学大学院教授就任、2015 年から現職。

現在は生産・流通プロセス改革とそのマネジメント方法を研究対象とする。生産・流通プロセス改革は、企業モデリングに基づく事業構造の改革技術を研究。また、マネジメント方法は、DCM/SCM(Demand/Supply Chain Management)を対象として、カップリングポイント在庫計画理論に基づく在庫適正化、キャッシュフロー改善に取り組む。電気学会、管理会計学会、経営工学会、経営情報学会、IEEEなどの会員。

参加申込は

FAX (03)-3511-4062
ホームページ <http://www.j-ie.com/>

下記ご記入のうえ
このまま FAX にて
お申込みください。

『Pull 生産方式での在庫計画』

CQ33 2019 年 10 月 10 日・11 日 河辺・五十嵐

■ 貴社名		■ 所在地(〒 -)	
氏名		所属/役職	
派遣 責任者	フリガナ	E-mail :	TEL : FAX :
参加者 (1)	フリガナ	E-mail :	TEL : FAX :
参加者 (2)	フリガナ	E-mail :	TEL : FAX :
合計【 】名		参加費【 円】	

■ キャンセル規定に関して ■

申込受け付け後、およそ開催日の 10 日前になりましたら、参加証(集合案内)、請求書を郵送いたします。正式受付後、参加予定者のご都合が悪く出席できない場合には、代理の方にご出席をお願いします。代理の方のご出席も不可能な場合は、下記の規定により、キャンセル料を申し受けます。

【(注)※キャンセルは、必ず E-mail、または、FAX にて、日本 IE 協会までご連絡下さい。】

- ・開催日の 7 日前～前々日(開催日初日を含まず起算) : 参加費の 50%
- ・開催日の前日および当日 : 参加費の全額(料金のご返金はできません)

「個人情報保護の取り扱いについて」をご一読いただき、同意の上、ご記入ください。ご同意いただけましたら同意署名に印印をお付けください。

個人情報の取り扱いについて同意する。

【個人情報の取り扱いについて】 ※日本 IE 協会と(公財)日本生産性本部は、2011 年 4 月に事業統合しました。

(公財)日本生産性本部・日本 IE 協会では、皆様の個人情報を以下のように取り扱います。下記の内容をご確認いただき、同意の上、日本 IE 協会のプログラムにお申込みいただきますようお願い申し上げます。なお、同意いただけない場合は、適切なサービスを受けられない場合がございます。同意いただいた後でも個別に不同意の表明をすることが可能です。

- 利用目的 : ①本プログラムに関する各種連絡、資料等の作成・配布、プログラム開催当日や講演者・事務局打ち合わせでの利用。
②日本 IE 協会が主催・実施する各事業におけるサービス提供や事業のご案内、および顧客分析・市場調査。
※上記以外の目的で個人情報を利用する場合、ご本人に個別に理由を説明し、同意を得た上で行うものといたします。
- 個人情報の第三者提供について : 法令に基づく場合などを除き、個人情報を第三者に提供することはありません。
但し、本プログラムを担当する講演者等に、名簿等を確認いただく場合があります。
- 業務委託について : 本プログラムの運営にあたり、業務の一部を外部に委託する場合があります。委託先に対しては、参加者へのサービスに必要な個人情報だけを委託します。(公財)日本生産性本部の選定基準に基づき委託先を選定し、契約により個人情報の保護を徹底するとともに、委託先に対して適切な管理・監督を行います。
- 写真等の利用について : 本プログラムでは撮影を行う場合があります。得られた情報や撮影した画像は、日本 IE 協会の広報宣伝活動に使用する場合があります。
- 皆様の権利 : 個人情報について、ご本人による開示請求・訂正・削除・利用停止等を求めることが可能です。
その際は、以下までご連絡ください。【連絡先】日本 IE 協会 : 03-3511-4062 (公財)日本生産性本部 個人情報保護管理者 総務部長